



**令和元年度の**

**市ふるさと応援寄附は約21億円  
県内全38市中6年連続1位**

市では職員からの提案もあり、平成26年9月から西三河で一番早く、返礼品付きのふるさと応援寄附金制度をスタートさせました。

ふるさと応援寄附とは、個人が応援したい自治体に寄附した場合、2千円を超える部分について、一定の限度額まで所得税、県民税、市民税を合わせて全額控除される仕組みです。

市へのふるさと応援寄附の実績は、26年度2億円、27年度6億3千万円、28年度5億7千万円、29年度5億5千万円、30年度7億4千万円、令和元年度20億7千万円であり、県内全38市中6年連続1位を維持しています。県内全54市町村中では、26・27年度は1位、それ以降は2位です。令和元年度まで6年間の累計は、約48億円です。

また寄附件数は、26年度1万4千件、27年度4万3千件、28年度3万

5千件、29年度3万6千件、30年度4万8千件、令和元年度11万5千件であり、これは県内全54市町村中6年連続1位です。

令和元年度は前年度に対し、金額ベースで2.8倍と急増しましたが、この理由は、令和元年度から国が返礼品の基準を寄附額の3割以下、地場産品と認められるモノなどとし、その運用も厳格化したことにより、当市のように一貫して国の方針に従って来た自治体の返礼品の魅力が相対的に上昇し、寄附が多く集まったのではないかと思われます。もちろん市内業者や市の担当者が常日ごろより魅力的な地場産品の発掘や開発を行っていることも重要な要因であることは言うまでもありません。なお人気返礼品は、うなぎ、ナッツ、甘栗、米、トマト、シラスなどです。



## 衣浦東部広域連合NEWS

**問** 衣浦東部広域連合事務局総務課総務係 ☎(63)0131

令和2年第1回衣浦東部広域連合議会臨時会が、6月29日(月)に広域連合議場(刈谷市役所)において開催されました。今議会は碧南市選出議員の任期満了、安城市および高浜市選出議員の辞職により3市議会において後任の広域連合議会議員が選出されたことに伴うものです。

議会では正副議長の選挙が行われ、議長に野場慶徳議員が、副議長に鈴木勝彦議員が選出されました。引き続き、広域連合副長の選任、監査委員(議会選出)の選任についての人事案件が同意されました。

また、救助工作車1台、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台の更新に伴う、財産の取得についての議案が可決されました。

### 碧南市 安城市および高浜市より今回選出の衣浦東部広域連合議会議員

●碧南市選出

山口春美、磯貝忠通、生田綱夫

●安城市選出

白谷隆子、塚原信一、稲垣退三  
今原康徳、野場慶徳

●高浜市選出

長谷川広昌、鈴木勝彦

(議席番号順、敬称略)

正副議長



議長  
野場慶徳  
(安城市)



副議長  
鈴木勝彦  
(高浜市)

同意された人物



広域連合副長  
三星元人  
(安城市副市長)

監査委員  
(議選)  
松永寿  
(刈谷市)